

S G H 国内実地調査(長野研修)に行ってきました [8月20日(水)・21日(木) 1泊2日]

【林農園(塩尻市)】

1989年、権威あるリュブリアーナ国際ワインコンクールで「桔梗ヶ原メルロー1985」が名だたるワインを抑えて大金賞を取った「五一わいん」の醸造所と農園を見学させていただきました。ワインは決して山梨県だけの特産品ではなく、それぞれの気候や風土に応じて試行錯誤が繰り返されていることを知りました。また、「ワインの味は葡萄8割、醸造2割」とおっしゃる林幹雄社長の葡萄栽培に対する熱意を感じました。



【小布施町】

小布施町の町づくり(農業立町+文化立町)について、役場で5つのポイント[①人口政策②北斎館の建設③栗菓子店・地場産業の活躍④町並み修景事業⑤花の町づくり]を中心に説明していただきました。その後実際にガイドの方と共に町内を散策し、取り組みの様子を見学しました。小さな町が長期間に渡って賑わいを保つため、町民の生活に近い形で、無理のないおもてなしに取り組んでいました。(無理な観光PRは長続きしないとのこと)



【伊那食品工業株式会社】

「かんでんぱぱ」ブランドで有名な企業。目先の利益の大きさよりも、会社を常に輝かせながら永続させるという経営理念を説明していただき、施設も見学させていただきました。「企業は本来、会社を構成する人々の幸せの増大のためにあるべき」と企業目的にあるとおり、社員がファミリーとしての意識を持ち、公私にわたって常に助け合える環境づくり(敷地内に公園やレストラン、美術館などもありました)に取り組んでいました。



【ホテルJALシティ長野にて】

ホテルでは19:30~22:00まで、これまでのSGHの活動を振り返りました。「山梨県における根本的な課題」について、4人グループでの話し合いを行い、そこで得た情報をもとに最後は各自で考えをまとめました。話し合いは①誰でも発言しやすく、②共感が生まれ、③参加者全員の意見が集まるという利点を持つ「ワールドカフェ方式」で行われ、これまで接することの少なかった友人とも積極的にコミュニケーションできました。

《参加生徒の感想》

- ★いきなり長野に行くのではなく、山梨の地場産業等を学習してから行ったため、山梨と長野を比較して相違点を見つけることができ、新しい知識を得ることができた。
- ★今回の研修では、自分達が実際に歩いて町単位で見学でき、とても新鮮で見方が広がった。
- ★夜間研修があったことにより、これまでの活動を振り返ることができた。また、意見を出しやすい話し合いの雰囲気づくりの大切さや、その方法についても学ぶことができた。